



「第5回ラブファーマーズ・カンファレンス」が令和元年8月30日～9月1日、「春野山の村」（浜松市天竜区春野町）で開催された。2015年から、毎年、春野町の同会場で開かれてきた。今年は5年目にあたる。

「農的暮らし」の実践者と、その一步を踏み出そうという人たちが交流する集い。3日間を通して、県内外の有機農業者、環境に優しい暮らしや農業を考える人たち、200名余が集まった。喧噪と残暑を逃れ、木々に囲まれた広大な自然の中で、じっくりと交流する場となった。

同施設は、浜松市天竜区春野町杉地区（標高約600m）にある。この施設は30年前に静岡県が建設し、県下の中高生の林間学校として利用されてきた。宿泊棟が10棟、体育館、天文台、会議場、浴場、調理場など、最大500名まで収容可能。現在は地元のNPO法人、はるの山の楽校が施設を管理・運営している。

参加者はこんな人たちだ。田舎への移住を考えている。有機農業や安全な食について知りたい。子育て環境に田舎暮らしを考えている。食の安全について学びたい。固定種のシードバンク（種の銀行）を作りたい。同じ志や意識を持った人や実践者との有機的なつながりをつくりたい。小さな暮らしの技術を学びたい。手仕事を学びたいという人たち。

親子連れの参加も多く、孟宗竹40本を切ってつくったジャングルジムとブランコが好評。子どもたちはそれに乗って遊んでいた。過疎地の山里にあって、子どもたちが元気に大自然の中で遊んでいる姿は、とても珍しいことで新鮮であった。そして、広場では100名余が参加して盆踊り大会も行われた。

主な講座：

「家族農業の10年 ～世界のいまとこれから」

「竹と獣皮で太鼓づくりワークショップ」

「森で遊ぼう！木に登ろう！ツリークライミング」

「疾走！マウンテンバイク試乗体験」

「自然からのSOS!大地の再生最前線レポート」

「調理革命 ～食が語りかける愛の世界」

「アグロエコロジーとエクステンクション・レベリオン ～『持続可能性』を求める市民運動のうねり」

「自分を解放するワークショップ ・本当の声に出会う」

「ゆっくり森の散策・山の村生き物探しツアー」

「草木染め」と「皮鞣し」

「心の声と向き合うワークショップ・音瞑想」

「農的暮らしをしながら、つぶつぶ雑穀料理で、 楽ちん子育て」

トークセッション「春野くらし百花」「再生する自然暮らし～薪火と木工、四国の時間」

「こんなに楽しい狩猟トーク」

「森で遊ぼう！木に登ろう！ツリークライミング」

「森のアクセサリーづくり」

「なりたい自分を見つける座学&ワークショップ・半農半X～天職のを見つけ方」

「丸太から厚板を採る、割りとハツりの実際、端材で火を燃やす」

問い合わせ：NPOはるの山の楽校：浜松市天竜区春野町杉943-1 TEL.053-984-0311

浜松北部地区生きがい特派員 池谷 啓

